

2040年を見据えた高齢者施策の課題と重点領域

資料⑦

状況



課題



重点領域

現役世代の急減

全産業で人材の取り合いが生じる厳しい環境に
介護の担い手も専門職頼みでは立ち行かなくなる
専門職の担う業務も人の力だけでは対応が限界に

独居高齢者等の増加

85歳以上の増加、高齢者数はピーク、高齢化率は35%に
単身世帯や身寄りのない高齢者が急増
軽度認知障害（MCI）を含めると65歳以上の約3人に1人
が認知症またはその予備軍に

介護・医療需要の増加

社会的孤立の深刻化

介護人材不足

①介護予防・自立支援 の強化

フレイルからの回復や要介護状態へ
の移行を先延ばしにできる人を
増やす

②人材確保・負担軽減 (ICT活用促進)

福祉人材が安心して働き続け、活躍
できることで、介護需要の増加に
対応する

③ひとり暮らしや身寄り のない高齢者への支援

住み慣れた住まいでのひとり暮らし
を安心して継続できるよう
支える

④家族介護者支援

家族の介護を身近で担う人の心身の
負担軽減が図られるよう
支える

⑤地域資源の活用・ サービスの整備

総合事業や介護保険外の事業、民間
サービス等の地域資源を生かした
地域づくり